

「読まれる議会だより」を目指して

令和8年8月25日 愛知県町村議会広報研修会

議会広報サポーターの芳野政明氏に、議会広報が(1)発行目的にそう企画・編集になっているか(2)読みやすさ、わかりやすさへの編集技術についてクリニックを受けた。

芳野氏より、表紙から巻頭企画、裏表紙と住民登場数が増えているのは良い傾向である。議案審議などのページも増えて議事公開も拡大傾向である。今後は、見やすさ、読みやすさを一段と向上するようにご指摘をいただいた。



令和8年8月28日 全国町村議会広報研修会

議会広報の充実をテーマに、3つの研修を受講した。議会だよりは、議会で何が議論されたかを伝えるだけでなく、その議論が町民の暮らしとどのように関係するのかを、読み手の視点で伝えることが重要であると学んだ。

そのためには、重要な情報にメリハリをつけ、分かりやすい見出しや写真を用いるなど、紙面の工夫も必要である。また、住民アンケートや広報モニターなど、実際に読む人の声を取り入れながら改善していくことも重要である。

今回の研修を生かし「町民の暮らしにどのように関係するのか」が伝わり、より身近に議会を知るきっかけとなる広報を目指していきたい。



防災公園の進捗状況は

令和8年8月3日 基幹的広域防災拠点等特別委員会

県の防災公園について、Base Park あいち株式会社と特定事業者契約が締結されたことを受け、整備概要や豊山タウンバスのバス停・ルート変更について説明を受けた。

整備が進む一方、町道117号線の拡幅に伴い、大型車が東進した場合の課題について県による進入防止の案内などが示されているものの、具体的な対応策は、県と町で引き続き検討するとされており、明確になっていない。



造成中の防災公園



県の防災公園イメージ図

また、臨空第2公園を本町の地域振興やまちづくりにどう生かしていくのかについて、町長からは「町民の憩いの場」や「交通の結節点」としていきたいとの考えが示されたが、具体的な活用方策や将来像、スケジュールについては説明がなかったため、今後も調査を継続する。